# ◎原子力の平和的利用における協力のための日本国政府とインド共和国政府との

間の協定

(略称) インドとの原子力協定

平成二十八年十一月 十一日 東京で署名

平成二十九年 七月 平成二十九年 六月 二十日 七日 外交上の公文の交換 国会承認

平成二十九年 七月 二十日 公布及び告示

(条約第二五号及び外務省告示第二六〇号)

平成二十九年 七月 二十日 効力発生

第	第	第	第	第	第	第	第	前	目
八	七	六	五.	四	三	$\stackrel{-}{\rightharpoonup}$	_		
条	条	条	条	条	条	条	条	文	次
情報及び技術並びに知的財産の保護・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・一〇九	核物質等の防護措置等・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	原子力安全関連条約に基づく義務の確認・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	計量管理制度の維持及び核物質等の関連情報の交換・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・一○七	保障措置の適用・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	平和的利用	協力の範囲二〇五	定義	文	人 ページ

インドとの原子力協定

一九九

文

原子力の平和的利用における協力のための日本国政府とインド共和国政府との間の協定

日本国政府及びインド共和国政府(以下「両締約国政府」という。)

日本国とインド共和国との間に存在する特別戦略的グローバル・パートナーシップを強化することを希望

も貢献することに留意し 原子力が、安全な、環境を害しない及び持続可能なエネルギー源を提供し、並びにエネルギー安全保障に

る高度な能力を有することを認識し 日本国及びインド共和国が両国の国民の福祉に貢献することができる原子力科学技術の平和的利用におけ

きたことを認識し また、両国がイーター国際核融合エネルギー機構を含む多数国間の場を通じてこの分野において協力して

日本国が千九百六十八年七月一日に作成された核兵器の不拡散に関する条約の当事国であることを考慮

日本国及びインド共和国の双方が国際原子力機関(以下「機関」という。)の原加盟国であることを認識

持並びに平和的目的のための原子力の開発及び利用についての国際的な協力における機関の重要性を再確認 機関の目的並びに日本国及びインド共和国のそれぞれに適用される機関の保障措置制度に対する両国の支

安全であることを確保するためのそれぞれの誓約を再確認し 達成し、並びに放射線及び原子力の全ての応用における利用が放射線作業員の健康、公衆及び環境にとって 科学的な取組、運転経験及び原子力産業が従う最良の慣行に基づく放射線及び原子力の安全の最高水準を

> FOR COOPERATION IN THE PEACEFUL USES OF NUCLEAR ENERGY THE GOVERNMENT OF THE REPUBLIC OF INDIA AGREEMENT OF JAPAN AND

Parties"); The Government of Japan and the Government of Republic of India (hereinafter referred to as "the the

Desiring to strengthen the Special Strategic and Global Partnership that exists between Japan and the Republic of India;

Noting that nuclear energy provides a safe, environmentally friendly and sustainable source of energy which also contributes to energy security;

Recognising that Japan and the Republic of India have advanced capabilities in the peaceful uses of nuclear science and technology which can contribute to the welfare of their respective peoples;

Recognising also that the two States have been cooperating in this area through multilateral fora including the ITER International Fusion Energy Organization;

Considering that Japan is a party to the Treaty on the Non-Proliferation of Nuclear Weapons, done on July 1, 1968;

Recognising that both Japan and the Republic of India are initial members of the International Atomic Energy Agency (hereinafter referred to as "the Agency");

Reaffirming the support of the two States for the objectives of the Agency and its safeguards system as applicable to Japan and the Republic of India respectively purposes; development and uses of nuclear energy for peaceful its importance in the international cooperation in the

ensure that the use of radiation and atomic energy in all its applications is safe for the health of radiation workers, members of the public and the environment; the highest standards of radiation and nuclear safety based on a scientific approach, operating experience and best practices followed by the nuclear industry, as well as to Reaffirming their respective commitments to achieve

定

mutual benefit and reciprocity; and States on the basis of respect for sovereignty, equality, Desiring also to develop cooperation between the two

Desiring to promote full cooperation between the two States in the development and uses of nuclear energy for peaceful purposes on a stable, reliable and predictable

Have agreed as follows:

ARTICLE 1

For the purposes of this Agreement:

(a)

- receive nuclear material, non-nuclear material, equipment and technology, and to perform or receive services, but does not include the under this Agreement, including to supply or a Party and authorised by that Party to cooperate The term "authorised person" means any individual or entity within the jurisdiction of the State of
- (d The term "nuclear material" means (i) source material and (ii) special fissionable material:
- (i) concentration as may be agreed to by the Parties; and such other material as may be agreed to by the Parties; and source material means uranium containing the one or more of the foregoing in such metal, alloy, chemical compound or mixture of isotopes occurring in nature; concentrate; any other material containing thorium; any of the foregoing in the form of uranium depleted in the isotope 235;

な国内の輸出管理及び核物質の適切な防護を含む。)に留意し 原子力の平和的利用における核不拡散、原子力の安全及び核セキュリティについての両国の誓約(効果的

主権の尊重、 平等、 互恵及び相互主義の基礎の上に両国間の協力を発展させることを希望し、

十分な協力を促進することを希望して、 安定性、 信頼性及び予見可能性を基礎として平和的目的のための原子力の開発及び利用における両国間の

次のとおり協定した。

第一条

この協定の適用上、

(b) (a) 受領すること並びに役務を提供し、又は受領することを含む。)を行うことを認められたものをいう。 (i) ただし、両締約国政府を含まない。 約国政府により、この協定の下での協力(核物質、核物質ではない資材、 「認められた者」とは、 「核物質」とは、次に規定する①原料物質又は⑪特殊核分裂性物質をいう。 原料物質とは、次の物質をいう ウランの同位元素の天然の混合率から成るウラン 一方の締約国政府の国の管轄内にある個人又は団体であって、当該一方の締 設備及び技術を供給し、又は

金属、合金、

同位元素ウラン二三五の劣化ウラン

有するもの 他の物質であって両締約国政府により合意される含有率において前記の物質の一又は二以上を含 化合物又は高含有物の形状において前記のいずれかの物質を含有する物質

両締約国政府により合意されるその他の物質

ii 特殊核分裂性物質とは、次の物質をいう。

プルトニウム

ウランニ三三 三

同位元素ウラン二三三又は二三五の濃縮ウラン

前記の物質の一又は二以上を含有する物質

特殊核分裂性物質には、原料物質を含まない。

- (c) 「核物質ではない資材」とは、原子炉において使用する物質であってこの協定の附属書AのA部に掲げるものをいい、核物質を含まない。
- しくは器具又はこれらの主要な構成部分であって、この協定の附属書AのB部に掲げるものをいう。()「設備」とは、原子力活動における使用のために特に設計し、又は製作した主要な機械、プラント若
- (e) 「技術」とは、核物質、核物質ではない資材又は電子的な形態のいずれかによってこの協定の精製をいう。ただし、公に利用可能な情報であって、更に提供することが制限されていないものを除く。この特定の情報は、技術的資料の形式をとることができ、そのような形式には、青写真、計画書、図この特定の情報は、技術援助の形態をとることができ、そのような形式には、青写真、計画書、図で情報は、技術援助の形態をとることができ、そのような形態には、指導、技能の養成、訓練、実用的の情報は、技術援助の形態をとることができ、そのような形態には、指導、技能の養成、訓練、実用的の情報は、技術援助の形態をとることができ、そのような形態には、指導、技能の養成、訓練、実用的の情報は、技術援助の形態をとることができ、そのような形態には、指導、技能の養成、訓練、実用的の情報は、技術援助の形態をとることができ、そのような形態には、指導、技能の養成、訓練、実用的の情報は、技術援助の形態をとることができ、そのような形態には、指導、技能の養成、訓練、実用的の情報は、技術援助の形態をとることができ、この特定の情報は、対策の提供することができ、とのような形態のいずれかによってこの協定の情報を受けるように指定され、及び文書化される。

- (ii) special fissionable material means plutonium; uranium-233; uranium enriched in the isotopes 233 or 235; any material containing one or more of the foregoing; and such other fissionable material as may be agreed to by the Parties. Special fissionable material does not include source material;
- (c) The term "non-nuclear material" means material for use in a nuclear reactor which are specified in Part A of Annex A to this Agreement, but does not include nuclear material;
- (d) The term "equipment" means major items of machinery, plant or instrumentation, or major components thereof, which are specially designed or prepared for use in nuclear activities, and which are specified in Part B of Annex A to this Agreement;
- (e) The term "technology" means the specific information necessary for the development, production or use of any nuclear material, non-nuclear material or equipment with the exception of information publicly available and without restrictions upon its further dissemination. The specific information may take the form of technical data which includes blueprints, plans, diagrams, models, formulae, engineering designs and specifications, manuals and instructions written or recorded on other media or devices such as disk, tape and read-only memories, and it may also take the form of technical assistance which includes instruction, skills, training, working knowledge and consulting services, and is transferred in any form pursuant to this Agreement and is so designated and documented in hard copy or digital form by agreement of the Parties that it shall be subject to this

- 設計、配置計画等の生産前の全ての段階をいう。 験生産に係る計画、設計用の資料、設計用の資料、設計の資料、設計の資料がら製品化を検討する過程、外形的な設計、統合的な験生産に係る計画、設計の資料、設計の研究、設計の解析、設計の概念、試作体の組立て及び試験、試
- (g) (e)及び(f)にいう「生産」とは、建設、生産工学、製造、統合、組立て(取付けを含む。)、検査、試験、品質保証等の核物質若しくは核物質ではない資材を生産し、又は設備を製作するための全ての活動験、品質保証等の核物質若しくは核物質ではない資材を生産し、又は設備を製作するための全ての活動をいう。
- 修をいう。 (回にいう「使用」とは、運転、据付け(現場への据付けを含む。)、保守、点検、修理、整備及び補
- 約国政府が合意する設備をいう。 () 「技術に基づく設備」とは、この協定に基づいて移転された技術を用いて製作されたものとして両締
- 「回収され又は副産物として生産された核物質」とは、次の核物質をいう。
- この協定に基づいて移転された核物質から得られた核物質

(i)

- (i) この協定に基づいて移転された核物質ではない資材又は設備を用いて行う一又は二以上の処理によって得られた核物質
- (ii) この協定に基づいて移転された技術を用いて得られたものとして両締約国政府が合意する核物質

#### \_ 〇 四

(£)

- The term "development" referred to in paragraph (e) of this Article means all phases before production such as design, design research, design analysis, design concepts, assembly and testing of prototypes, pilot production schemes, design data, process of transforming design data into a product, configuration design, integration design and layouts;
- The term "production" referred to in paragraphs (e) and (f) of this Article means all activities for producing nuclear material, non-nuclear material or equipment such as construction, production engineering, manufacture, integration, assembly (mounting), inspection, testing and quality assurance;

(g)

- (h) The term "use" referred to in paragraph (e) of this Article means operation, installation including on-site installation, maintenance, checking, repair, overhaul and refurbishing;
- (i) The term "equipment based on technology" means equipment which the Parties agree as produced from the use of technology transferred pursuant to this Agreement; and
- (j) The term "nuclear material recovered or produced as a by-product" means:
- (i) nuclear material derived from nuclear material transferred pursuant to this Agreement;
- (ii) nuclear material derived by one or more processes from the use of non-nuclear material or equipment transferred pursuant to this Agreement; and
- (iii) nuclear material which the Parties agree as derived from the use of technology transferred pursuant to this Agreement.

- 的のための原子力の利用に関する許可要件を含む。)に従ってこの協定を実施する。この協定は、誠実 のとする。各締約国政府は、適用のある条約及びそれぞれの国において効力を有する国内法令(平和的目 平和的非爆発目的のための原子力の利用における両締約国政府の間の協力は、この協定の規定に従うも かつ、国際法の原則に従って実施される。
- り行うことができる 両国におけるこの協定の下での協力は、次の方法及び両締約国政府により合意されるその他の方法によ
- (a) む。)。 科学、技術その他の分野の専門家を交換すること(これらの者のこの条に規定する活動への参加を含
- (b) められた者との間の合意によって定める条件で、いずれか一方の締約国政府が国家安全保障上の理由に より秘密として指定する情報以外の情報を交換すること。 両締約国政府の間、各締約国政府の認められた者の間又は一方の締約国政府と他方の締約国政府の認
- (c) はない資材、設備及び技術(第三国における使用が予定されるものを含む。)を供給すること、 約国政府又はその認められた者から他方の締約国政府又はその認められた者に対し、 供給者と受領者との間の合意によって定める条件であってこの協定に適合するものにより、 核物質、 核物質で 一方の締
- (d) 政府又はその認められた者がこれを受領すること。 定に適合するものにより、 この協定の範囲内の事項について、提供者と受領者との間の合意によって定める条件であってこの協 一方の締約国政府又はその認められた者が役務を提供し、及び他方の締約国
- 3 2に規定する協力は、次の分野及び両締約国政府により合意されるその他の分野において行うことがで きる。

- energy for peaceful and non-explosive purposes shall be subject to the provisions of this Agreement. Each Party shall implement this Agreement in accordance with the applicable treaties as well as national laws and international law. regulations in force in the respective States including licence requirements concerning the use of nuclear energy in good faith and in accordance with the principles of for peaceful purposes. This Agreement shall be implemented Cooperation between the Parties in the use of nuclear
- undertaken in the following ways and other ways as may agreed by the Parties: Cooperation under this Agreement in the two States may

be be

- (a) experts including their participation in the activities referred to in this Article; exchange of scientific, technical and other
- 9 authorised persons of the Parties, or between exchange of information other than that placed under classification for national security as may be agreed between the Parties, between reasons by either of the Parties, on such terms

either Party and authorised persons of the other

- (c) and technology, including those intended for use in third States, on such terms, consistent with supply from a Party or its authorised persons to the other Party or its authorised persons of nuclear material, non-nuclear material, equipment supplier and the recipient; and this Agreement, as may be agreed between the
- (d) within the scope of this Agreement on such terms consistent with this Agreement, as may be agreed other Party or its authorised persons on matters authorised persons and receipt of services by the provision of services by a Party or its between the supplier and the recipient
- 3. Cooperation as specified in paragraph 2 of this Article may be undertaken in the following areas and other areas as may be agreed by the Parties:

- (a) 適当な規制に従って行われる原子炉の設計、建設、運転のための補助的役務、保守活動及び廃止措置
- 底棄物の処理及び管理を含む。) を無物の処理及び管理を含む。)
- 会緊急事態の防止並びに当該緊急事態への対応を含む。)有互に関心を有する原子力の安全に係る事項(放射線防護及び環境保護、原子力事故及び放射線に係る事項(放射線防護及び環境保護、原子力事故及び放射線に係る事項(放射線防護及び環境保護、原子力事故及び放射線に係る
- 耐締約国政府により合意される分野における共同研究開発を含む原子力の平和的利用の分野における

(f)

相互に関心を有する核セキュリティに係る事項における経験の共有

- ように改正された場合に限り、この協定の下で移転することができる。 ではない資材の生産のための技術及び設備並びにプルトニウムは、この協定がこれらの移転を可能にする 2及び3の規定にかかわらず、ウランの濃縮、使用済核燃料の再処理、プルトニウムの転換及び核物質
- る滞在を容易にすることができる。 この協定に基づく協力に伴い2(3)に規定する専門家の自国の領域への入国及び自国の領域における この協定に基づく協力に伴い2(3)に規定する専門家の交換が行われる場合には、両締約国政府は、それ

#### 第三条

1 この協定の下での協力は、平和的非爆発目的に限って行う。

- (a) design, construction, support services for operation and maintenance activities as well as decommissioning of reactors in conformity with the appropriate regulatory requirements;
- (b) all aspects of the nuclear fuel cycle associated with activities referred to in sub-paragraph (a) of this paragraph, including nuclear fuel fabrication and radioactive waste processing and management;
- nuclear safety matters of mutual interest, including radiation and environmental protection, and prevention of and response to nuclear accident and radiation emergency;

(c)

- (d) scientific and technical cooperation in the field of peaceful uses of nuclear energy including joint research and development on areas agreed by the Parties;
- (e) study on and application of radio-isotopes a radiation in such fields as agriculture, medicine, industry and environment; and
- (f) exchange of experiences in nuclear security matters of mutual interest.
- 4. Notwithstanding the provisions of paragraphs 2 and 3 of this Article, technology for and equipment for uranium enrichment, spent nuclear fuel reprocessing, conversion of plutonium and production of non-nuclear material and plutonium may be transferred under this Agreement only when this Agreement is amended for that purpose.
- 5. When cooperation pursuant to this Agreement requires exchanges of experts referred to in sub-paragraph (a) of paragraph 2 of this Article, the Parties may facilitate the entry of the experts to their territories and their stay therein in accordance with the laws and regulations in force in their respective States.

#### ARTICLE 3

 Cooperation under this Agreement shall be carried out only for peaceful and non-explosive purposes.

なる核爆発装置のためにも又はいかなる核爆発装置の研究若しくは開発のためにも使用してはならない。回収され又は副産物として生産された核物質は、平和的目的以外の目的で使用してはならず、また、いか2 この協定に基づいて移転された核物質、核物質ではない資材、設備及び技術、技術に基づく設備並びに

#### [

- 両国について適用される機関の保障措置が適用されていることを要件として行う。 1 この協定の下での協力は、日本国と機関との間及びインド共和国と機関との間の関係する協定に従って
- れ又は副産物として生産された核物質は、2 この協定に基づいて移転された核物質、核物質ではない資材及び設備、技術に基づく設備並びに回収さ
- 政府と国際原子力機関との間の協定に従って適用される機関の保障措置の適用を常に受ける。十七年三月四日に作成された核兵器の不拡散に関する条約第三条1及び4の規定の実施に関する日本国()日本国内においては、千九百九十八年十二月四日に作成された追加議定書により補足された千九百七
- との間の協定に従って適用される機関の保障措置の適用を常に受ける。 二日に作成された民生用の原子力施設への保障措置の適用のためのインド共和国政府と国際原子力機関 () インド共和国内においては、二千九年五月十五日に作成された追加議定書により補足された同年二月
- 政府は、適当な検証のための措置について協議し、及び合意する。 機関が2の規定の下で必要とされる機関の保障措置の適用が可能でないと決定した場合には、両締約国

#### 第五条

2. Nuclear material, non-nuclear material, equipment and technology transferred pursuant to this Agreement, equipment based on technology and nuclear material recovered or produced as a by-product shall not be used other than for peaceful purposes; nor shall they be used for any nuclear explosive device, for research on or for development of any such device.

#### ARTICLE 4

- 1. Cooperation under this Agreement shall require the application of safeguards by the Agency as applicable to Japan and the Republic of India in accordance with their respective relevant agreements with the Agency.
- 2. Nuclear material, non-nuclear material and equipment transferred pursuant to this Agreement, equipment based on technology and nuclear material recovered or produced as a by-product shall remain subject to safeguards by the Agency as applicable:
- (a) within Japan, in accordance with the Agreement between the Government of Japan and the International Atomic Energy Agency in Implementation of Article III.1 and 4 of the Treaty on the Non-Proliferation of Nuclear Weapons, done on March 4, 1970 as supplemented by the Protocol Additional to the said Agreement, done on December 4, 1998; and
- (b) within the Republic of India, in accordance with the Agreement between the Government of India and the International Atomic Energy Agency for the Application of Safeguards to Civilian Nuclear Facilities, done on February 2, 2009 as supplemented by the Protocol Additional to the said Agreement, done on May 15, 2009.

  If the Agency decides that the application of If the Agency as required by paragraph 2 of this
- 3. If the Agency decides that the application of safeguards by the Agency as required by paragraph 2 of this Article is not possible, the Parties shall consult and agree on appropriate verification measures.

#### ARTICLE 5

 Each Party shall maintain a system of accounting for and control of all nuclear material transferred pursuant to this Agreement and nuclear material recovered or produced as a by-product.

する情報、この協定の適用を受ける設備及び技術に関する情報並びにその他の関連する情報を交換する。じ、この協定の適用を受ける核物質及び核物質ではない資材であって機関の保障措置の下にあるものに関い 両締約国政府は、この協定の規定を実施し、及び運用するため、相互の合意により、適当な当局を通

#### 45 7 A

確く約全原 認義に関子 務基連力 のづ条安

く義務を再確認する。

#### 第七条

置の核 等防物 護等 措等

- 1 各締約国政府は、自国の管轄内において使用中、貯蔵中若しくは輸送中であるか又は国際輸送中である物質の防護を確実にするための適切な措置がとられることを確保する。
- 書面により通告した後にのみ、当該一方の締約国政府について効果を有する。勧告のいかなる改正も、一方の締約国政府が当該改正を指針とする旨の決定を他方の締約国政府に対してり、各締約国政府は、機関の文書INFCIRC-二二五-Rev・四中の勧告を指針とする。これらの2 各締約国政府は、自国の管轄内において防護の措置を実施する責任を負う。防護の措置の実施に当た
- 3 両締約国政府は、この協定の適用を受けることができる。
  することにより、自国の一覧表を変更することができる。
  一方の結約国政府は、この協定の適用を受けるプルトニウム及びウランニニーを除く。)並びに高濃縮ウランが貯蔵されている施設の一覧表をすることにより、自国の一覧表を変更することができる。

2. The Parties shall exchange information on nuclear material and non-nuclear material under safeguards by the Agency as applicable, equipment and technology subject to this Agreement, as well as any other related information, as mutually agreed, through appropriate authorities to implement and administer the provisions of this Agreement.

#### ARTICLE 6

The Parties reaffirm their obligations under international conventions relating to nuclear safety to which both Japan and the Republic of India are parties.

#### ARTICLE 7

- 1. Each Party shall make sure that, whether during use, storage or transportation within the jurisdiction of its State or during international transport, adequate measures to ensure the physical protection of nuclear material and equipment transferred pursuant to this Agreement and nuclear material recovered or produced as a by-product are adopted, in accordance with the laws and regulations in force in its State and relevant international conventions to which it is a party, in particular the Convention on the physical Protection of Nuclear Material and Nuclear Facilities adopted on October 26, 1979 and amended on July 8, 2005.
- 2. Each Party shall be responsible for implementing measures of physical protection within the jurisdiction of its State. In implementing measures of physical protection, each Party shall be guided by recommendations contained in the document published by the Agency as INFCIRC/225/Rev.4. Any revision to those recommendations shall only be effective for a Party after that Party has given written notice to the other Party of its decision to be guided by such revision.
- 3. The Parties shall exchange annually a list of facilities in which plutonium and uranium-23 (except as either may be contained in irradiated fuel elements), and high enriched uranium subject to this Agreement is stored. Either Party may make changes to its list by notifying the other Party in writing and receiving a written acknowledgement.

#### 第八条

- 1 両締約国政府は、それぞれの国において効力を有する関係法令に従い、この協定の下での協力に基されることを確保する。
- のある国際協定並びにそれぞれの国において効力を有する関係法令に従って確保する。 技術の適切かつ効果的な保護を、日本国及びインド共和国の双方が当事国である知的財産に関連する適用2 両締約国政府は、この協定の下での協力に基づいて生じた知的財産及び当該協力に基づいて移転された

#### 第 九 冬

- 府の認められた者と第三者との間で行われるものを容易にするような態様で、この協定を実施する。れぞれの認められた者の間で行われるもの及び適当な場合には他方の締約国政府又は当該他方の締約国政府の間又はそされるこの協定の適用を受ける品目に関する原子力分野における取引であって、両締約国政府の間又はそ1 両締約国政府は、一方の締約国政府又は当該一方の締約国政府の認められた者が最終使用者として予定
- 2 締約国政府は、商業上の利益を確保するために又は他方の締約国政府の商業上の関係を妨害するために

#### 第十名

この協定の規定を利用してはならない

されない。

「の協定に基づいて移転された核物質、核物質ではない資材、設備及び技術、技術に基づく設備並びに回い、受領締約国政府の国の管轄の外(供給締約国政府の書面による事前の同意が得られる場合を除収され又は副産物として生産された核物質、核物質ではない資材、設備及び技術、技術に基づく設備並びに回されない。

#### ARTICLE 8

- 1. The Parties shall ensure the adequate and effective protection of information and technology obtained pursuant to the cooperation under this Agreement against unauthorised use or disclosure in accordance with the relevant laws and regulations in force in their respective States.
- 2. The Parties shall ensure the adequate and effective protection of intellectual property created and technology transferred pursuant to the cooperation under this Agreement in accordance with applicable international agreements relating to intellectual property to which both Japan and the Republic of India are parties as well as the relevant laws and regulations in force in their respective states.

#### ARTICLE 9

- 1. The Parties shall implement this Agreement in such a manner as to facilitate nuclear trade between the Parties or their authorised persons, and where appropriate, nuclear trade between a Party or its authorised persons and third parties, of items subject to this Agreement for which the other Party or its authorised person is the intended end user.
- 2. A Party shall not use the provisions of this Agreement for the purpose of securing commercial advantage or for the purpose of interfering with the commercial relations of the other Party.

### ARTICLE 10

Nuclear material, non-nuclear material, equipment and technology transferred pursuant to this Agreement, equipment based on technology and nuclear material recovered or produced as a by-product shall not be transferred or retransferred beyond the jurisdiction of the State of the supplying Party, except into the jurisdiction of the State of the supplying Party, unless the prior written consent of the supplying Party is obtained.

#### .

- この協定に基づいて移転されたウラン及びこの協定に基づいて移転された設備において使用され、又は当該設備の使用を通じて生産されたウランは、同位元素ウラン二三五の濃縮た設備において使用され、又は当該設備の使用を通じて生産されたウラン及びこの協定に基づいて移転された設備において使用され、又は当該設備の使用を通じて生産されたウラン及びこの協定に基づいて移転された設備において使用され、又は当該設備の使用を通じて生産されたウラン及びこの協定に基づいて移転された設備において使用され、又は当該設備の使用を通じて生産された力を振された設備において使用され、又は当該設備の使用を通じて生産された対域にあった。
- 附属書Bの規定に従い、インド共和国の管轄内において再処理することができる。2 この協定に基づいて移転された核物質及び回収され又は副産物として生産された核物質は、この協定の
- 2の規定は、次の個から心までに掲げることを条件として適用する。
- (a) 二千九年五月十五日に作成された追加議定書により補足された同年二月二日に作成された民生用の原(a) 二千九年五月十五日に作成された追加議定書により補足された同年二月二日に作成された民生用の原
- 産する目的のためにのみ貯蔵され、又は使用されること。 画を実施するための施設であって、機関の保障措置の下にある同国に所在するもののための核燃料を生画を実施するための施設であって、機関の保障措置の下にある同国に所在するもののための予定された原子力計
- (c) この協定の附属書Bに定める条件が引き続き適用されていること。

### ARTICLE 11

- 1. Enrichment may be carried out up to less than twenty percent in the isotope 235 of uranium transferred pursuant to this Agreement, as well as uranium used in or produced through the use of equipment transferred pursuant to this Agreement. Enrichment of twenty percent and above in the isotope 235 of uranium transferred pursuant to this Agreement, as well as uranium used in or produced through the use of equipment transferred pursuant to this Agreement may be carried out only when the written consent of the supplying Party has been obtained.
- 2. Nuclear material transferred pursuant to this Agreement and nuclear material recovered or produced as a by-product may be reprocessed within the jurisdiction of the Republic of India in accordance with the provisions of Annex B to this Agreement.
- The provisions of paragraph 2 of this Article shall only apply:
- (a) as long as the Agreement between the Government of India and the International Atomic Energy Agency for the Application of Safeguards to Civilian Nuclear Facilities, done on February 2, 2009 as supplemented by the Protocol Additional to the said Agreement, done on May 15, 2009, where applicable, is in force for the Republic of India;
- where any special fissionable material that may be separated thereby is stored or used only for the purpose of producing nuclear fuel for facilities in the Republic of India under safeguards by the Agency to implement the Republic of India's planned nuclear energy programme for peaceful purposes; and

9

(c) as long as the modalities described in Annex B to this Agreement continue to apply.

2 この協定の規定に基づく核物質、核物質ではない資材、設備及び技術の移転は、両締約国政府の間で直 移転を供給締約国政府が受領締約国政府に対して書面により事前に通告した場合に限り、 合には当該受領者が受領締約国政府の認められた者であることの書面による確認を受領締約国政府から得 設備又は技術がこの協定の適用を受けることとなること及び予定される受領者が受領締約国政府でない場 質、核物質ではない資材、 受領締約国政府の国の管轄に入る時から、 接に又は各締約国政府の認められた者を通じて行うことができる。 そのように移転される核物質、 設備又は技術の移転に先立ち、 この協定の適用を受ける。 核物質ではない資材、 移転される当該核物質、核物質ではない資材 直接であると第三国を経由してである 設備及び技術は、予定されるこれらの 供給締約国政府は、通告された核物 かつ、これらが

3 この協定の規定に基づいて移転された核物質、核物質ではない資材、設備及び技術、 ないこととなるものとする。 並びに回収され又は副産物として生産された核物質は、次のいずれかの場合には、この協定の適用を受け 技術に基づく設備

が消耗したこと、機関の保障措置の適用が相当とされるいかなる原子力活動にも使用することができな いような態様で希釈されたこと又は実際上回収不可能となったことが機関によって決定された場合 核物質について、第四条1に規定する関係する協定の保障措置の終了に係る規定に従い、当該核物質

### ARTICLE

- accordance with the provisions of this Agreement and may be implemented through specific written arrangements, in any form, between the Parties or their authorised persons. the authorised persons of the Parties. These written arrangements may take the form of scientific between the Parties or their authorised persons referred to in Article 2 of this Agreement shall be implemented in material, non-nuclear material, equipment and technology technical exchanges, memoranda or contracts signed by Cooperation with regard to transfer of nuclear
- this Agreement upon their entry into the jurisdiction of the State of the receiving Party, only if the supplying Party has notified the receiving Party in writing and in advance of the intended transfer. Prior to the notified transfer of such nuclear material, non-nuclear material, equipment or technology, the supplying Party shall obtain from the receiving Party a written confirmation that the transferred nuclear material, non-nuclear material, directly or through a third State, shall become subject equipment, and technology pursuant to this Agreement may be undertaken directly between the Parties or through their receiving Party. Agreement and that the proposed recipient, if other than equipment or technology will be held subject to this material, equipment and technology so transferred, whether authorised persons. Nuclear material, non-nuclear the receiving Party, will be an authorised person of the Transfer of nuclear material, non-nuclear material,
- recovered or produced as a by-product shall no longer be subject to this Agreement if: equipment based on technology and nuclear material technology transferred pursuant to this Agreement Nuclear material, non-nuclear material, equipment and
- way that it is no longer usable for any nuclear activity relevant from the point of view of the relevant agreement referred to in paragraph 1 of Article 4 of this Agreement, that the nuclear Agency safeguards, or has become practicably material has been consumed or diluted in such provisions for the termination of safeguards in the case of nuclear material, it has been determined by the Agency, in accordance with the irrecoverable;

- (b) に移転された場合 に回収され又は副産物として生産された核物質が第十条の規定に従って受領締約国政府の国の管轄の外 この協定の規定に基づいて移転された核物質、核物質ではない資材、設備及び技術に基づく設備並び
- (c) いて、 備並びに回収され又は副産物として生産された核物質がこの協定の適用を受けないこととなることにつ この協定の規定に基づいて移転された核物質、核物質ではない資材、設備及び技術、 両締約国政府が外交上の経路を通じて書面により相互に別段の決定をする場合 技術に基づく設
- れた核物質であって、各締約国政府の機関との保障措置協定に適合するものの特定に当たり、 この協定に基づいて移転された核物質及び核物質ではない資材並びに回収され又は副産物として生産さ 構成比率による比例の原則及び同等性の原則を適用することができる 代替可能性

等争協 の議、 解 決紛

- することができる 見可能性を基礎とする協力の発展等の事項について、外交上の経路又は他の協議の場を通じて相互に協議 の協定の実施(技術的な問題を含む。)並びに原子力の平和的利用の分野における安定性、信頼性及び予 両締約国政府は、 いずれか一方の締約国政府の要請により、この協定の下での協力を促進するため、こ
- 役割を果たす合同委員会を設置する。 委員会の下に合同技術作業部会を設置することができる され、双方にとって適当な日に会合することができる。 ついて協議するために会合する。 両締約国政府の代表者は、いずれか一方の締約国政府の要請により、この協定の適用から生ずる事項に このため、 合同委員会は、両締約国政府によって指定された代表者により構成 両締約国政府は、そのような協議のための適当な場としての 1に規定する技術的な問題を協議するため、 合同
- 3 各締約国政府は、第二条の規定に基づく協力に影響を及ぼす行動を避けるよう努める。
- は両締約国政府によって合意されるその他の方法により当該紛争を解決するよう努める この協定の解釈又は適用に関して両締約国政府の間に紛争が生じた場合には、両締約国政府は、交渉又

equipment has been transferred beyond the jurisdiction of the State of the receiving Party in accordance with Article 10 of this Agreement; such nuclear material, non-nuclear material or

(d

- (0) should no longer be subject to this Agreement. writing through the diplomatic channel that it the Parties otherwise mutually determine in
- non-nuclear material transferred pursuant to this Agreement 4. The principles of fungibility, proportionality and equivalence may be applied in handling nuclear material and consistent with each Party's safeguards agreement with the and nuclear material recovered or produced as a by-product

### ARTICLE 13

- implementation of this Agreement, including any technical issues, and the development of cooperation in the field o peaceful uses of nuclear energy on a stable, reliable and channel or other consultative fora on matters such as the them, consult with each other through the diplomatic Agreement, the Parties may, at the request of either of predictable basis. With a view to promoting cooperation under this
- designated by the Parties, and may meet on mutually convenient dates. A Joint Technical Working Group may be request of either Party with a view to consulting on matters arising from the application of this  $\mathsf{Agreement}$ . Accordingly, the Parties shall establish a Joint Committee to serve as the appropriate forum for such consultations. technical issues referred to in paragraph 1 of this established under the Joint Committee to consult on any The Joint Committee shall be composed of representatives Representatives of the Parties shall meet at the
- 3. Each Party shall endeavour to avoid any action that affects cooperation specified under Article 2 of this Agreement.
- to the interpretation or application of this Agreement, the negotiation or other means agreed to by the Parties Parties shall endeavour to settle the dispute by If any dispute arises between the Parties with regard

従って取り扱う。 一 今後の商業上の契約の解釈、実施又は履行に関する紛争については、当該商業上の契約に定める規定に

#### 第十四条

1 各締約国政府は、この協定の有効期間の満了前に、他の締約国政府に対して一年前に書面による通告をす府がこの協定の終了の日に先立ち書面により当該通告を撤回した場合又は両締約国政府は、終了を求める理由行うことによりこの協定を終了させる権利を有する。終了の通告を行う締約国政府は、終了を求める理由を示す。この協定は、当該書面による通告の日から一年で終了する。ただし、当該通告を行った締約国政府がこの協定の終了の日に先立ち書面による通告をお続いて、この限りでない。

3 終了を求める締約国政府が終了を求める通告の理由としてこの協定の違反を示す場合には、両締約国政府が終了を求める締約国政府が終了を求める通告の理由として機関との保障措置協定の違反を示す場合には、機関の理事会が違反の認定を行ったかる通告の理由として機関との保障措置協定の違反を示す場合には、機関の理事会が違反の定義に相当する場合でない限り、重大なものであるか否とみなすことはできない。終了を求める締約国政府が終了を求める通告の理由としてこの協定の違反を示す場合には、両締約国政る通告の理由として、関係では、関係の関係を表示す場合には、両統約国政の通告の理由として、関係の違反を示す場合には、両統約国政会がが重要な要素の一つである。

5. Disputes regarding the interpretation, implementation or performance of subsequent commercial contracts shall be dealt with in accordance with the provisions found in the contracts.

### ARTICLE 14

1. Either Party shall have the right to terminate this Agreement prior to its expiration by giving one year's written notice to the other Party. A Party giving notice of termination shall provide the reasons for seeking such termination. This Agreement shall terminate one year from the date of the written notice, unless the notice has been withdrawn in writing by the Party giving such notice prior to the date of termination or the Parties otherwise agree.

2. Before this Agreement is terminated pursuant to paragraph 1 of this Article, the Parties shall consider the relevant circumstances and promptly hold consultations to address the reasons cited by the Party seeking termination. The Party seeking termination of this Agreement has the right to cease further cooperation under this Agreement in whole or in part, if it determines that a mutually acceptable resolution of outstanding issues has not been possible or cannot be achieved through consultations. The Parties shall consider carefully the circumstances that may lead to termination of this Agreement or cessation of coperation under this Agreement. They further agree to take into account whether the circumstances that may lead to termination of this Agreement or cessation of serious concern about a changed security environment or as a response to similar actions by other States which could impact national security.

33. If a Party seeking termination cites a violation of this Agreement as the reason for notice for seeking termination, the Parties shall consider whether the action was caused inadvertently or otherwise and whether the violation could be considered as material. No violation may be considered as being material unless corresponding to the definition of material violation or breach in the Vienna Convention on the Law of Treaties. If a Party seeking termination cites a violation of asafeguards agreement with the Agency as the reason for notice for seeking termination, a crucial factor will be whether the Board of Governors of the Agency has made a finding of noncompliance.

- 4 この協定の下での協力の停止の後に、締約国政府の領域内にあるこの協定の適用を受けている核物質、核物質ではない資材又は設備及び巨収され又は副産物として生産された特殊核分裂性物質の他方の締約国政府による返還を要求する権利を有する。返還を要求する権利を主張する締約国政府の書面による通告については、この協定が終了する日以前に他方の締約国政府に送付する。当該通告には、締約国政府が返還を要求は、この協定の終了の時に、各締約国政府の領域内にあるこの協定の適用を受けている核物質、核物質でおない資材、設備及び技術について適用されなくなる。
- 両締約国政府は、4の規定に基づいて返還を要求する権利を行使することが両締約国政府間の関係に重中の契約及び事業であって各締約国政府の原子力計画にとって重要なものに及ぼす潜在的な悪影響に考慮中の契約及び事業であって各締約国政府の原子力の利用可能性に関し、関係締約国政府の原子炉の継続した運転の重要性に特に考慮を払う。両締約国政府と協議を行う。その協議においては、エネルギー安全保障を強成する方法としての平和的目的のための原子力の利用可能性に関し、関係締約国政府の領域又は管理の処域であって各締約国政府の原子力の利用可能性に関し、関係締約国政府の原子炉の継続した運転の重要性に特に考慮を払う。両締約国政府は、4の規定に基づいて返還を要求する権利を行使することが両締約国政府間の関係に重中の契約及び事業であって各締約国政府の原子力計画にとって重要なものに及ぼす潜在的な悪影響に考慮中の契約及び事業であって各締約国政府の原子力計画にとって重要なものに及ぼす潜在的な悪影響に考慮中の契約及び事業であって各締約国政府の原子力計画にとって重要なものに及ぼす潜在的な悪影響に考慮中の契約及び事業であって各締約国政府の原子力計画にとって重要なものに及ぼす潜在的な悪影響に考慮中の契約及び事業であって各締約国政府の原子力計画にとって重要なものに及ぼす潜在的な悪影響に考慮中の契約及び事業であって各締約国政府の原子力計画にとって重要なものに及ぼす潜在的な悪影響に考慮を表します。
- 6 いずれか一方の締約国政府が4の規定に基づいて返還を要求する権利を行使する締約国政府が、当該返還のための方法及び手続、返還されることとなる品目の数量並びにに補償する。両締約国政府に対し、それらの公正な市場価額及び当該移動のために生じた費用について速やか当該他方の締約国政府に対し、それらの公正な市場価額及び当該移動のために生じた費用について速やから数別国政府は、返還されることとなる品目を他方の締約国政府の領域又は管理から移動させるに先立ち、締約国政府が一方の締約国政府が支払うべき補償の額について合意する。

- 4. Following the cessation of cooperation under this Agreement, either Party shall have the right to require the return by the other Party of any nuclear material, non-nuclear material or equipment transferred pursuant to this Agreement and any special fissionable material recovered or produced as a by-product. A written notice by a Party that is invoking the right to require the return shall be delivered to the other Party on or before the date of termination of this Agreement. The notice shall contain a statement of the items of which the Party is requiring the return. Except as provided in provisions of paragraph 3 of Article 17 of this Agreement, all other legal obligations pertaining to this Agreement shall cease to apply with respect to the nuclear material, non-nuclear material, equipment and technology subject to this Agreement remaining on the territory of either Party upon termination of this Agreement.
- 5. The two Parties recognise that exercising the right to require the return pursuant to paragraph 4 of this Article would have profound implications for the relationship between the Parties. If either Party seeks to exercise such right, it shall, prior to the removal from the territory or from the control of the other Party of any nuclear material, non-nuclear material or equipment transferred pursuant to this Agreement and any special fissionable material recovered or produced as a by-product specified in paragraph 4 of this Article, undertake consultations with the other Party. Such consultations shall give special consideration to the importance of uninterrupted operation of nuclear reactors of the Party concerned with respect to the availability of nuclear energy for peaceful purposes as a means of achieving energy security. Both Parties shall take into account the potential negative consequences of termination of this Agreement on the on-going contracts and projects initiated under this Agreement of significance for the respective nuclear programmes of either Party.
- 6. If either Party exercises its right to require the return pursuant to paragraph 4 of this Article, it shall, prior to the removal of the items to be returned from the territory or from the control of the other Party, compensate promptly that Party for the fair market value thereof and for the costs incurred because of such removal. The Parties shall agree on methods and arrangements for such return, the relevant quantity of the items to be so returned, and the amount of compensation that would have to be paid by the Party exercising the right to require the return.

- で、かつ、現行の国際的な規則に従っていることを確認する。で、かつ、現行の国際的な規則に従っていることとなる品目が通過する国及び地球環境へ不当な危険を与え移転がいずれの締約国政府、返還されることとなる品目が通過する国及び地球環境へ不当な危険を与え移転がいずれの締約国政府、返還されることとなる品目が通過する国及び地球環境へ不当な危険を与え移転がいずれの締約国政府、返還されることとなる品目が通過する国及び地球環境へ不当な危険を与えないで、
- び了解に考慮を払う。 8 4の規定に基づいて返還を要求する権利を行使する締約国政府は、当該返還のための時期、方法及び手 が了解に考慮を払う。
- 9 障への影響に考慮を払う。当該停止が六箇月の期間を超える場合には、両締約国政府は、発電の中断がイ く。)。そのような決定については、平和的目的のための原子力を提供する原子炉の継続的な運転への当 締約国政府が他方の締約国政府に対して書面によって提出する特定の理由のために延長される場合を除 限の範囲及び最小限の期間に限られるものとし、三箇月を超えない期間とする(ただし、 外的な状況に関する再処理施設に適用され、かつ、当該例外的な状況に対処するために必要とされる最小 についての相互に受入れ可能な解決を得ることを目的とする協議の後に行う停止のための決定は、 設の防護に対する重大な脅威が存在するといずれか一方の締約国政府が判断する場合に限られる例外的な き協議する ンドの経済に及ぼす悪影響についての補償及び契約上の義務の中断を理由とする損失についての補償につ 該停止による影響、当該停止によるインドの経済への損失の可能性及び当該停止によるエネルギー安全保 る核物質の再処理の継続が自国の国家安全保障に対する重大な脅威を生じさせるおそれがある又は当該施 第十一条の規定に基づく再処理は、この協定の附属書Bに規定する施設におけるこの協定の適用を受け いずれか一方の締約国政府により停止される。 両締約国政府の間で行われる未解決の問題 当該停止を行う 当該例

- 7. Prior to the return of nuclear material, non-nuclear material or equipment transferred pursuant to this Agreement or any special fissionable material recovered or produced as by-product, the Parties shall satisfy themselves that full safety, radiological and physical protection measures have been ensured in accordance with the laws and regulations in force in their respective states and that the transfers pose no unreasonable risk to either Party, countries through which the items to be returned may transit and to the global environment and are in accordance with existing international regulations.
- 8. The Party exercising the right to require the return grows and to paragraph 4 of this Article shall ensure that the timing, methods and arrangements for the return are in accordance with paragraphs 5, 6 and 7 of this Article. In this regard, the consultations between the Parties shall take into account the commitments and understandings that the Republic of India has with other civil nuclear cooperation partners with regard to reliable supply of fuel to the Republic of India.
- in electricity generation and loss on account of disruption of contractual obligations. purposes, potential loss to Indian economy and impact on energy security caused by the suspension. In case the other Party. Such a decision shall take into account the extent and for the minimum period necessary to deal with the exceptional circumstances, and for not longer than consultations between the Parties aimed at reaching mutually acceptable resolution of outstanding issues shall is a serious threat to the physical protection at the material subject to this Agreement at a facility referred to in Annex B to this Agreement would result in a serious  $\ensuremath{\mathsf{B}}$ 9. The reprocessing pursuant to Article 11 of this Agreement shall be subject to suspension by either Party in the adverse impact on the Indian economy due to disruption Parties shall enter into consultations on compensation for suspension extends beyond a period of six months, both energy security caused by the suspension. nuclear reactors that provide nuclear energy for peaceful effects of such suspension on uninterrupted operation of suspension for specific reasons conveyed in writing to the three months unless extended by the Party seeking the exceptional circumstances and will be to the minimum be applied to the relevant reprocessing facility related to facility. Any decision to seek suspension following threat to that Party's national security or in case there determination that continuance of reprocessing of nuclear exceptional circumstances limited to either Party's

#### 第十五条

の権利及び義務に影響を及ぼすものと解してはならない。 材 この協定のいかなる規定も、 設備及び技術であってこの協定の下での協力の適用範囲外であるものについて適用される両締約国政府 両締約国政府が生産し、取得し、又は開発した核物質、核物質ではない資

の手続の完了を他方の締約国政府に通告する。改正は、その通告のいずれか遅い方が受領された日に効力 は を生ずる この協定は、両締約国政府の書面による合意によっていつでも改正することができる。この協定の改正 それぞれの国内手続に従い、 各締約国政府によって承認されるものとする。 各締約国政府は、これら

る両締約国政府の書面による合意によって修正することができる この協定の附属書は、この協定の不可分の一部を成す。この協定の附属書は、外交上の公文の交換によ

等有効 効力 期発 間生、

相互に通告する外交上の公文を交換した日に効力を生ずる。 この協定は、両締約国政府がこの協定の効力発生のために必要なそれぞれの国内手続を完了したことを

を終了させる意思を書面により通告しない限り、自動的に十年間ずつ延長されるものとする。 期間の満了する日の遅くとも六箇月前までに他方の締約国政府に対し、外交上の経路を通じて、 この協定は、四十年間効力を有するものとし、その後は、いずれか一方の締約国政府がこの協定の有効 この協定

有する。 この協定の下での協力の停止又はこの協定の終了の後においても、 第六条、 第七条、第十条、第十一条、第十二条3、第十三条及び第十四条の規定は、引き続き効力を 第一条、 第三条、 第四条、 第五条

ARTICLE 15

material, equipment and technology produced, acquired or developed by them, which are not within the scope of the cooperation under this Agreement. Parties with regard to nuclear material, non-nuclear affecting the applicable rights and obligations of the Nothing in this Agreement shall be

### ARTICLE 16

Agreement shall be approved by each Party in accordance with its internal procedures. Each Party shall notify the other of the completion of these procedures. Amendments 1. This Agreement may be ameniate a carry time written agreement of the Parties. Amendment to this written agreement of the party in accordance notifications is received. shall enter into force on the date the later of these This Agreement may be amended at any time with a

part of this Agreement. The Annexes may be modified by written agreement of the Parties through an exchange of diplomatic notes. The Annexes to this Agreement shall form an integral The Annexes may be modified by a

2

#### ARTICLE

1. This Agreement shall enter into force on the date on which the Parties exchange diplomatic notes informing each other that their respective internal procedures necessary. for entry into force of this Agreement have been completed

other Party in writing through diplomatic channel of its intention to terminate this Agreement not later than six months prior to the expiry date. year periods thereafter unless either Party notifies the forty years and shall be automatically extended This Agreement shall remain in force for a period of for ten-

this Agreement or termination of this Agreement, Articles 1, 3 and 4, paragraph 1 of Article 5, Articles 6, 7, 10 and 11, paragraph 3 of Article 12 and Articles 13 and 14 of this Agreement shall continue in effect. Notwithstanding the cessation of cooperation under

二千十六年十一月十一日に東京で、本書二通を作成した。

日本国政府のために 平松賢司

インド共和国政府のために スブラマニヤム・ジャイシャンカル

In witness whereof the undersigned, being duly authorised by their respective Governments, have signed this Agreement.

Done at Tokyo on the 11th day of November, 2016, in duplicate.  $% \left( 1\right) =\left( 1\right) ^{2}$ 

For the Government of Japan:

K. Hiramatsu

For the Government of the Republic of India:

S. Jaishankar

A 部

附属書A

原子と水素原子との比が一対五千を超える他の重水素化合物(一暦年の期間(一月一日から十二月三十一 日まで)において重水素原子の量につき二百キログラムを超える量の供給を行う場合に限る。) 重水素及び重水 B部の1に規定する原子炉において使用する重水素、重水(酸化重水素)及び重水素

設 備 及び

える量の供給を行う場合に限る。 超える密度を有する黒鉛であって、B部の1に規定する原子炉において使用するもの(一キログラムを超 原子炉級黒鉛 ほう素当量百万分の五の純度を超える純度及び一・五○グラム毎立方センチメートルを

B 部

1 原子炉 制御された自己維持的核分裂連鎖反応を維持する運転能力を有する原子炉

又は製作した金属容器又はその主要な工作部品 原子炉容器 1に規定する原子炉の炉心及び8に規定する原子炉内装物を収納するために特に設計し、

作した操作用設備 原子炉燃料交換機 1に規定する原子炉についての燃料の挿入又は取出しのために特に設計し、又は製

二 八

Annex A

Part

Deuterium and heavy water:

۳.

Deuterium, heavy water (deuterium oxide) and any other deuterium compound in which the ratio of deuterium to hydrogen atoms exceeds 1:5000 for use in a nuclear reactor as defined in paragraph 1 of Part B below, in quantities exceeding 200 kg of deuterium atoms within a period of one calendar year (from 1 January to 31 December).

Nuclear grade graphite:

2

million boron equivalent and with a density greater than 1.50g/cm3 for use in a nuclear reactor as defined in paragraph 1 of Part B below, in quantities exceeding 1 k Graphite having a purity level better than 5 parts per in quantities exceeding 1 kg

Part B

<u>⊢</u> Complete nuclear reactors:

Nuclear reactors capable of operation so as to maintain a controlled self-sustaining fission chain reaction.

Nuclear reactor vessels:

2

Metal vessels, or major shop-fabricated parts therefor, especially designed or prepared to contain the core of a nuclear reactor as defined in paragraph 1 above paragraph 8 below. as well as relevant nuclear reactor internals as defined 1 above, in

machines: Nuclear reactor fuel charging and discharging

for inserting or removing fuel in a nuclear reactor as defined in paragraph 1 above. Manipulative equipment especially designed or prepared

- し、又は製作した棒、その支持体若しくは懸架体、制御棒駆動機構又は制御棒案内管4 原子炉制御棒及び原子炉制御設備 1に規定する原子炉における核分裂過程の制御のために特に設計
- は製作した管 1に規定する原子炉の内部に燃料要素及び一次冷却材を収容するために特に設計し、又5 原子炉圧力管 1に規定する原子炉の内部に燃料要素及び一次冷却材を収容するために特に設計し、又
- キログラムを超える量のもの 1に規定する原子炉の内部において燃料被覆管として使用するために特に設計し、又は製作し、かつ、十 6 核燃料被覆管 ジルコニウム金属管又はジルコニウム合金の管(又はこれらの管の集合体)であって、
- 7 一次冷却材ポンプ又は循環装置 1に規定する原子炉における一次冷却材の循環のために特に設計し、 7 一次冷却材ポンプ又は循環装置 1に規定する原子炉における一次冷却材の循環のために特に設計し、
- 等1に規定する原子炉の内部において使用するために特に設計し、又は製作した原子炉内装物8 原子炉内装物 炉心支持柱、燃料チャネル、カランドリア管、熱遮蔽体、調節板、炉心格子板、拡散板
- · 熱交換器
- (a) 1に規定する原子炉の一次冷却材回路又は中間冷却材回路のために特に設計し、又は製作した蒸気発生器
- (b) 1に規定する原子炉の一次冷却材回路において使用するために特に設計し、又は製作したその他の熱交換器
- 10 中性子検出機器 1に規定する原子炉の炉心内部の中性子束を測定するために特に設計し、又は製作した中性子検出機器 1に規定する原子炉の炉心内部の中性子束を測定するために特に設計し、又は製作し

# Nuclear reactor control rods and equipment:

4

Especially designed or prepared rods, support or suspension structures therefor, rod drive mechanisms or rod guide tubes to control the fission process in a nuclear reactor as defined in paragraph 1 above.

# Nuclear reactor pressure tubes:

. ლ

Tubes which are especially designed or prepared to contain both fuel elements and the primary coolant in a nuclear reactor as defined in paragraph 1 above.

### Nuclear fuel cladding:

Zirconium metal tubes or zirconium alloy of tubes (or assemblies of tubes), especially designed or prepared for use as fuel cladding in a nuclear reactor as defined in paragraph 1 above, and in quantities exceeding 10 kg.

# Primary coolant pumps or circulators:

Pumps or circulators especially designed or prepared for circulating the primary coolant for a nuclear reactor as defined in paragraph 1 above.

### Nuclear reactor internals:

ω.

Nuclear reactor internals especially designed or prepared for use in a nuclear reactor as defined in paragraph 1 above. This includes, for example, support columns for the core, fuel channels, calandria tubes, thermal shields, baffles, core grid plates and diffuser plates.

### Heat exchangers:

9.

- (a) Steam generators especially designed or prepared for the primary, or intermediate, coolant circuit of a nuclear reactor as defined in paragraph 1 above.
- (b) Other heat exchangers especially designed or prepared for use in the primary coolant circuit of a nuclear reactor as defined in paragraph 1 above.

### 10. Neutron detectors:

Especially designed or prepared neutron detectors for determining neutron flux levels within the core of a nuclear reactor as defined in paragraph 1 above.

- 11 ために特に設計し、又は製作した外部熱遮蔽体 外部熱遮蔽体 熱損失の削減及び格納容器の保護のため、1に規定する原子炉の内部において使用する | 11. External thermal shields:
- 12 原子炉燃料要素の加工プラント及び原子炉燃料要素の加工のために特に設計し、又は製作した設備
- 13 換のために特に設計し、又は製作した設備 燃料要素の加工又はウラン同位元素の分離に使用するためのウランの転換プラント及び当該ウランの転

External thermal shields especially designed or prepared for use in a nuclear reactor as defined in paragraph 1 above for reduction of heat loss and also for containment vessel protection.

- 12. Plants for the fabrication of nuclear reactor fuel elements, and equipment especially designed or prepared therefor.
- 13. Plants for the conversion of uranium for use in the fabrication of fuel elements and the separation of uranium isotopes, and equipment especially designed or prepared therefor.

### 物として生産された核物質の再処理

通告する。その通告には、次の事項を含む。 インド共和国政府は、日本国政府に対し、 施設(以下「施設」という。)を設置したことを書面により

### (a) 施設の所有者又は操業者の名称

(b) 質搬入の見込期日並びに活動の種類 施設の名称、種類及び所在地、施設の計画中の設備能力、関係する核物質の種類、施設への当該核物

(c) に対して施設について通告したこと及び関係する保障措置取極が同年五月十五日に作成された追加議定 インド共和国政府と国際原子力機関との間の協定14回の規定に従い、機関の保障措置の適用のため機関 インド共和国政府が二千九年二月二日に作成された民生用の原子力施設への保障措置の適用のための

書により補足された同協定に従って合意されたことの確認

(d) 保障措置手法に関する情報であって「保障措置に係る秘密」に指定されていないもの ○に規定する保障措置取極が6の規定に適合する旨の確認及びインド共和国政府が入手可能な機関の

知を提供する。 日本国政府は、インド共和国政府に対し、 この受領通知は、 当該通告が受領された旨の表明に限定される 1に規定する通告の受領の後三十日以内に文書による受領通

#### Annex B

Nuclear Material Recovered or Produced as a By-product within the Jurisdiction of the Republic of India  $\,$ Transferred Pursuant to this Agreement and Reprocessing of Nuclear Material

the Government of Japan in writing that it has established a facility (hereinafter referred to as "the Facility"). The notification shall contain: The Government of the Republic of India shall notify

the name of the owner or operator of the Facility;

(a)

- <u>6</u> the name, type and location of the Facility and Facility and the type of activity; of introduction of such nuclear material into the nuclear material involved, the approximate date its planned capacity, as well as the type of
- (0) for the Application of Safeguards to Civilian Nuclear Facilities, done on February 2, 2009 the Government of the Republic of India has notified the Facility to the Agency for the application of safeguards by the Agency and that relevant safeguards arrangements have been agreed in accordance with the said Agreement, as supplemented by and as applicable the Protocol Additional to the said Agreement, done on May 15, confirmation that in accordance with paragraph 14 India and the International Atomic Energy Agency (a) of the Agreement between the Government of
- (d) safeguards approach of the Agency that is not classified as "Safeguards Confidential." arrangements are in accordance with paragraph 6 below, and such information as is available to a statement affirming that the safeguards the Government of the Republic of India on the
- acknowledgement to the Government of the Republic of India no later than thirty days after receipt of the notification referred to in paragraph 1 above. This acknowledgement shall be limited to a statement that the notification has been received The Government of Japan shall provide a written

= = =

- は内容の変更のために充てるものをいう。 この附属書の規定の適用上、「施設」とは、二の新規の国内再処理を行うために設置し、かつ、機関の保障措置の下にある核物質の再処理及び必要に応じて他の形状又処理を行うために設置し、かつ、機関の保障措置の下にある核物質の再施設であって、インド共和国政府がこの協定の適用を受ける核物質その他保障措置の下にある核物質の再処理を設及び追加的な新規の国内再処理は内容の変更のために充てるものをいう。
- めるためにそれぞれの国において効力を有する法令に即した必要な措置をとる。の満足を確保するために協議する。両締約国政府は、その協議の後、インド共和国政府の追加の要請を認4 両締約国政府は、インド共和国政府の要請により、3に規定する新規の再処理施設の追加に関して相互
- 5 この協定の規定に従い、インド共和国政府は、二千九年五月十五日に作成された追加議定書により補足された同年二月二日に作成された民生用の原子力機関との間の協定の規定に従い、機関の保障措置の適用のために施設を提供する。保障措置の手段には、保障措置の対象となる核物質の民生用の使用からの取出しを適時に採知するため、同年五月十五段には、保障措置の対象となる核物質の民生用の使用からの取出しを適時に採知するため、同年五月十五段には、保障措置の対象となる核物質の民生用の使用からの取出しを適時に採知するため、同年五月十五段には、保障措置の対象となる核物質の民生用の原子力施設への保障措置の適用のためのインド共和国政府と国際原子力機関との間の協定に定める核物質の計量、施設の設計に係る審査及び検認、施設の建設の進展に関する報告、適当な封じ込め及び監視に係るシステム、工程の監視の適用のためのインド共和国政府と国際原子力機関との間の協定に定める核物質の計量、施設の設計に係る事を表して、日本の関係の対象となる核物質の計画を表し、二十九年五月十五日に作成された追加議定書により補足を記された。
- 6 インド共和国政府は、施設における機関の保障措置の実施のため、次に掲げる最低限の要件が満たされることを確保する。

- 3. For the purposes of this Annex, the term "the Facility" means two new national reprocessing facilities, as well as any additional new national reprocessing facilities that the Government of the Republic of India will establish to reprocess nuclear material subject to this Agreement and any other safeguarded nuclear material and are dedicated to the reprocessing and, as required, other alteration in form or content of safeguarded nuclear material under safeguards by the Agency.
- 4. At the request of the Government of the Republic of India, the Parties shall consult with each other to achieve mutual satisfaction with respect to the addition of new reprocessing facilities referred to in paragraph 3 above. Following such consultations, the Parties will pursue the steps necessary consistent with the laws and regulations in force in their respective States to permit such a request.
- supplemented by and as applicable the Protocol Additional to the said Agreement, done on May 15, 2009. For the timely detection of withdrawal of safeguarded nuclear include, as specified in the Agreement between the Government of India and the International Atomic Energy process monitoring and other measures as may be agreed with Facility, appropriate containment and surveillance systems, material accountancy, design review and verification of the to the said Agreement, done on May 15, 2009, nuclear material from civilian use, safeguards measures shall Agency for the Application of Safeguards to Civilian Nuclear Facilities, done on February 2, 2009 as Government of India and the International Atomic Energy accordance with the provisions of the Agreement between the Facility for the application of safeguards by the Agency in 5. Consistent with the provisions of this Agreement, the Government of the Republic of India shall offer the the Agency. Facility, report on progress in construction of the supplemented by and as applicable the Protocol Additional Agency for the Application of Safeguards to Civilian Nuclear Facilities, done on February 2, 2009 as
- 6. The Government of the Republic of India shall ensure that the following minimum requirements for the implementation of safeguards by the Agency at the Facility are fulfilled:

### (a) 施設の設計

### (i) 設計情報の早期の提供

報をできる限り早期に提供することにより機関に協力する。めのインド共和国政府と国際原子力機関との間の協定40の規定の定めるところにより、施設の設計情めのインド共和国政府は、二千九年二月二日に作成された民生用の原子力施設への保障措置の適用のた

### (i) 設計に係る効果的な審査及び検認

活動を認めるに当たり、機関に協力する。

# 保障措置の適用を円滑にする設計上の特徴の組入れ

(iii)

要となる独立した機器の設置が含まれるが、これらに限られない。 のえば、計量槽の校正システムの設置、溶液の混合及び採取に係る効果的な方法並びに認証上必あ。例えば、計量槽の校正システムの設置、溶液の混合及び採取に係る効果的な方法並びに認証上必妨げる設計上の特徴を排除しつつ、保障措置が効果的かつ効率的に実施されることができるようにす妨ける設計上及び運用上の特徴については、機関が要請する場合には、保障措置の効果的な適用を施設の設計上及び運用上の特徴については、機関が要請する場合には、保障措置の効果的な適用を

# (b) 保障措置のシステムの設計及び設備の設置

### (i) 機関との協力

開封表示装置を含む。)の設置及び運転を受け入れる。インド共和国政府及び施設の操業者は、施設における機関の機器(データ収集装置、認証装置及び

### Facility Design

(a)

# (i) Early Provision of Design Information

The Government of the Republic of India shall co-operate with the Agency by providing design information of the Facility at the earliest possible time as provided in paragraph 40 of the Agreement between the Government of India and the International Atomic Energy Agency for the Application of Safeguards to Civilian Nuclear Facilities, done on February 2, 2009.

# (ii) Effective Design Review and Verification

The Government of the Republic of India and the operator of the Facility, as appropriate, shall cooperate with the Agency in allowing activities for design review and verification of the Facility.

### (iii) Incorporation of Design Features that Facilitate Safeguards

As may be required by the Agency, design and operational characteristics of the Facility shall enable effective and efficient implementation of safeguards while precluding design features that would prevent the effective application of safeguards. Examples include, but are not limited to: installation of vessel calibration systems; effective methods of solution mixing and sampling; and installation of independent instruments as may be necessitated by authentication concerns.

# Safeguards System Design and Installation

6

### Cooperation with the Agency

(i)

The Government of the Republic of India and the operator of the Facility shall accommodate the installation and operation of instrumentation of the Agency in the Facility, including data collection systems, authentication systems and tamper-indicating devices.

# 正確なかつ適時の情報提供が可能な計量管理制度

表置が利用されるものとする。 装置が利用されるものとする。

### 四 工程内物質の測定

る。 インド共和国政府及び施設の操業者は、施設の運転中の工程内核物質の在庫の主要なものの全てを

### iv 工程の監視データ

管理データ等の保障措置に関係する操業者のデータへのアクセスを認める。
がのインド共和国政府と国際原子力機関との間の協定の規定に従い、機関に対し、認証された工程のめのインド共和国政府及び施設の操業者は、機関が求める場合には、二千九年五月十五日に作成された民生用の原子力施設への保障措置の適用のた追加議定書により補足された同年二月二日に作成された民生用の原子力施設への保障措置の適用のた

#### 兀

### (ii) System of Accounting and Control Capable of Providing Accurate and Timely Data

The Government of the Republic of India and the operator of the Facility shall maintain at the Facility, a comprehensive and accurate nuclear material accountancy and control system that conforms to standards of the Agency in accordance with the provisions of the Agency in accordance with the provisions of the Agency for the Application of Safeguards to Civilian Nuclear Facilities, done on February 2, 2009 as supplemented by and as applicable the Protocol Additional to the said Agreement, done on May 15, 2009, so that accurate and timely declarations can be made to the Agency. A system of inventory records and reports shall be maintained for each material balance area. An effective tutilised.

# (iii) In-Process Material Measurement

The Government of the Republic of India and the operator of the Facility shall cooperate with the Agency to enable the Agency to provide at the Facility measurement capabilities that the Agency considers as necessary to cover all major in-process nuclear material inventories during operation of the Facility.

## (iv) Process Monitoring Data

If desired by the Agency, the Government of the Republic of India and the operator of the Facility shall provide to the Agency access to safeguards relevant operator data, such as authenticated process control data in accordance with the provisions of the Agreement between the Government of India and the International Atomic Energy Agency for the Application of Safeguards to Civilian Nuclear Facilities, and as applicable the Protocol Additional to the said Agreement, done on May 15, 2009.

### (v) 現地における分析所

該分析所を設置し、運営することを許される。置手法によって要求される破壊分析を含む。)を行うための現地における分析所を含む。機関は、当置手法によって要求される破壊分析を含む。)を行うための現地における分析所を含む。機関が要請する場合には、工程における試料の分析(施設における機関の保障措施設の設計には、機関が要請する場合には、工程における試料の分析(施設における機関の保障措

### (が) 封じ込め及び監視に係るシステム

テムを維持することを許される。 が設め及び監視に係るシステムの利用について考慮するものとし、機関は、施設において当該シス対じ込め及び監視に係るシステムの利用について考慮するものとし、機関は、施設において当該シス

### (c) 保障措置の実施

#### (i) 計量記録の検認

機関は、核物質の計量に関する記録及び報告の定期的な検認を行うことを許される。

### (ii) 遠隔データの伝送

を行うことができる。 を行うことができる。 というにいる ということができる。 というに対している というにいる というにいい とり がいった 医生用の原子力 施設への保障措置の適用のためのインド共和国政府と国際原子力機関との間の協定を行うことができる。

### On-site Laboratory

⋖

The Facility design shall incorporate an on-site laboratory, if the Agency so requests, to perform analysis of process samples including destructive analysis required by the safeguards approach of the Agency at the Facility. The Agency shall be permitted to set up and operate that laboratory.

# (vi) Containment and Surveillance Systems

The Facility design shall take into account the use of containment and surveillance systems in accordance with the practices and procedures of the Agency, as required for the effective implementation of safeguards, and the Agency shall be permitted to maintain such systems at the Facility.

### Safeguards Implementation

(0)

# (i) Verification of Accountancy Records

The Agency shall be permitted to carry out regular verification of nuclear material accountancy records and reports.

# (ii) Remote Data Transmissions

The Agency, if it considers it efficient for the purpose of safeguards implementation, may use remote transmission, in accordance with the provisions of the Protocol Additional to the Agreement between the Government of India and the International Atomic Energy Agency for the Application of Safeguards to Civilian Nuclear Facilities, done on May 15, 2009 of authenticated data to enable more frequent data analysis.

#### 二六

### (ii) データ認証

力する。 力する。 力する。 力する。

### (iv) アクセス及び透明性

認める。

「お料の採取を含む。」の査察を行うよう、機関に対して十分なアクセスを全ての工程における活動(試料の採取を含む。)の査察を行うよう、機関に対して十分なアクセスを全ての工程における活動(試料の採取を含む。)の査察を行うよう、機関に対して十分なアクセスを全ての工程における活動(試料の採取を含む。)の査察を行うよう、機関に対して十分に必要とされる範囲で、から、施設についてのでは、対している。

### 毎年の洗浄後の在庫

(v)

に毎年工程から取り除く。機関による正確な実在庫の検認のために核物質を実行可能な限度において用いることができるよう

### (vi) 異常な状況の解決

合には、これを適時に解決するために機関と協力する。

インド共和国に所在する機関の保障措置の下にある国内施設において貯蔵され、及び使用される。7 この附属書に定める条件に従って行われる再処理によって分離され得るいかなる特殊核分裂性物質も、

### (iii) Data Authentication

The Parties recognise the importance of reliable instrumentation for the purpose of timely and accurate safeguards related data, and of data authentication for safeguards implementation. The Government of the Republic of India and the operator of the Facility shall cooperate with the Agency to apply adequate authentication methods to data and samples collected for safeguards purposes.

### (iv) Access and Transparency

The Government of the Republic of India and the operator of the Facility shall provide sufficient access to the Agency to install and maintain safeguards equipment, and to inspect the complete process activity of the operator, including sample-taking, to the extent required for safeguards implementation and maintain a complete understanding of the Facility.

### Annual Cleanout Inventory

3

Nuclear material shall be removed from process lines annually in order to make it available, to the extent practicable, for accurate physical inventory verification by the Agency.

### (vi) Anomaly Resolution

The Government of the Republic of India and the operator of the Facility shall cooperate with the Agency to resolve anomalies, if any, including material accounting anomalies, in a timely fashion.

7. Any special fissionable material that may be separated by reprocessing subject to the conditions as specified in this Annex shall be stored and utilised in national facilities in the Republic of India under the safeguards by the Agency.

### 見解及び了解に関する公文

- (以下「協定」という。) に関連し、下名は、次のとおり記録する。 本日署名された原子力の平和的利用における協力のための日本国政府とインド共和国政府との間の協定
- (i) 行った声明(以下「九月五日の声明」という。)が協定の下での両国間の協力の不可欠の基礎を成す旨 日本側代表団の代表は、当時のインド共和国外務大臣プラナーブ・ムカジー氏が二千八年九月五日に
- (ii) がある場合には、日本国政府が同条に規定する権利を行使し、及び同条に定める手続を開始することが できる旨述べた。 協定第十四条の規定を実施するに当たり、日本側代表団の代表は、①に規定する基礎に何らかの変更
- (iii) 第十四条9の規定に従って停止される。 なされることとなる旨述べた。そのような場合において、協定の適用を受ける核物質の再処理は、協定 日本側代表団の代表は、九月五日の声明に違反するインドの行動は通常の状況からの深刻な逸脱とみ
- (iv) についての補償及び契約上の義務の中断を理由とする損失についての補償に関するインドの請求に対 し、日本国が協定第十四条9に規定する協議を通じて異議を申し立てる権利を留保する旨述べた。 日本側代表団の代表は、更に、そのような場合において、発電の中断がインドの経済に及ぼす悪影響
- (v) インド側代表団の代表は、九月五日の声明をインド共和国政府が再確認する旨述べた。

# NOTE ON VIEWS AND UNDERSTANDING

I. In connection with the Agreement between the Government of Japan and the Government of Wapan and the Government of Nuclear India for Cooperation in the Peaceful Uses of Nuclear Energy signed today (hereinafter referred to as "the Agreement"), the undersigned record the following: 0f

(±)

- Minister of India on September 5, the Agreement. statement") constitutes an essential basis Mr. Pranab Mukherjee, then External Affairs stated that the Statement delivered by The representative of the Japanese delegation for cooperation between the two States under (hereinafter referred to as "the September 5 2008
- (ii) Government of Japan may exercise its rights and initiate the procedures stipulated in the aforementioned article where there is any change in this basis. In implementing the provisions of Article 14 of the Agreement, the representative of the Japanese delegation stated that the
- (iii) a serious departure from the prevailing situation. In that situation, reprocess The representative of the Japanese delegation stated that an Indian action in violation of will be suspended in accordance with paragraph 9 of Article 14 of the Agreement. of nuclear material subject to the Agreement the September 5 statement could be viewed as reprocessing
- (iv) electricity generation and loss on account of of compensation for the adverse impact on the of Article 14 of the Agreement. disruption of contractual obligations through Indian economy due to disruption in further stated that in such a situation Japan reserves the right to contest India's claim The representative of the Japanese delegation the consultations provided for in paragraph
- (4) stated that the Government of the Republic of The representative of the Indian delegation India reiterates the September 5 statement.

二 前記については、両国の見解の正確な反映であることが了解される。

二千十六年十一月十一日に東京で

日本国政府のために

大菅岳史

インド共和国政府のために

アマンディープ・シン・ギル

三八

II. It is understood that the above constitutes an accurate reflection of the views of the two sides.

At Tokyo, this the 11th day of November, 2016

For the Government of Japan:

an: For the Government of the Republic of India:

Amandeep Singh Gill

T. Osuga